

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 3 月 7 日作成)

小委員会名	建築論・建築意匠小委員会		主 査 名：岸田省吾 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	歴史・意匠委員会		委員長名：谷 直樹 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(1) 日本および海外の建築論・建築意匠に関する研究の持続的収集(基礎的な文献資料のデータベース化) (2) 建築論・建築意匠論研究の方法論の研究 (3) 学際的、国際的研究交流(公開研究セミナーの開催) (4) 研究成果の公表(公開研究会の記録の刊行)		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし 岸田省吾(東大)、奥山信一(東工大)、西垣安比古(京大)、市原出(東京工芸大)、入江正之(早大)、岡河貢(広大)、朽木順綱(京大)、小林克弘(首都大)、白井秀和(福井大)、末包伸吾(関西大)、田路貴浩(京大)、崔康勲(法大)、富永譲(法大)、林一馬(長崎総合科学大)、前田忠直(京大)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2009 年度予算	200000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 『建築論の現在』第 11 回「住宅のコンセプトチャリズムと建築のラディカリズム」参加者数 120 名 『住宅のコンセプトチャリズムと建築のラディカリズム』
大会研究集会	1. 研究協議会『建築の思索と制作を横断する 10 のキーワード』参加者数 130 名 『建築の思索と制作を横断する 10 のキーワード』
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 研究情報の収集は『建築論事典』増補版刊行にむけ議論をすすめた。 2. 方法論の研究、研究交流は連続セミナー第 11 回、ならびに大会研究協議会開催により成果をあげた。 3. 研究成果の公表は連続セミナー、大会催事の資料刊行によって成果をあげた。
委員会活動の問題点・課題	1. 活動費の支出に関する自由度が少なく機動的な委員会開催に支障がある。

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。